

講演・発表内容 要旨

2024. 7. 28 版

ISLIS主催 第58回生命情報科学シンポジウム 第16回合宿

開催日: 2024年8月2-5日(金-月) 募集中: 講演・発表・実技指導・等

開催地: 富士山麓 朝霧高原: 富士宮市猪之頭 / 日月(ひげつ)倶楽部・富士山静養園

<理事長講演>

人財の結集を - ホリスティック医学・不思議の科学の拠点,
国際生命情報科学会(**ISLIS**)・国際総合研究機構(愛理 **IRI**)・
世界一の「潜在能力科学研究所」・「いやしのビル」へ

山本 幹男 博士(医学), 博士(工学)

(Mikio YAMAMOTO, Ph.D., Ph.D.)

国際生命情報科学会 (**ISLIS**) 理事長・編集委員長,

国際総合研究機構 (愛理 **IRI**) 理事長, 科学平和文化財団 (**SPC-F**) 理事長,
「潜在能力科学研究所」創立責任者, 「いやしのビル」企画委員長 (千葉, 日本)



要旨: 2024年8月2-5日(金-月)に第58回生命情報科学シンポジウムを「富士山麓のトリートで命の循環を体験・体感する」一フェーズフリーのホリスティック医学とは一を主テーマとし, 主催 国際生命情報科学会 (**ISLIS**, イスリス, 帯津良一 会長, 帯津三敬病院 名誉院長), 共催 国際総合研究機構(愛理 **IRI**, アイリ)・科学平和文化財団(**SPC-F**)で, 大会長 山本竜隆 **ISLIS**理事, 朝霧高原診療所 院長の下, 富士山 朝霧高原の大会長の関連施設 日月(ひげつ)倶楽部・富士山静養園にて第16回合宿として開催する. 地元関係者のご協力に感謝する.

次の第59・60回シンポは2025年春夏に**ISLIS**創立30周年記念行事として開催予定で大会長など募集中. これらに多くの方の講演・発表・実技披露等応募と参加を望む.

ISLISは, その兄弟組織でこの分野の幾多の研究成果を挙げてきた **NPO-IRI/SPC-F・愛理 IRI**と共に, **IRI**「潜在能力科学研究所」を創設し大型「いやしのビル」を建設し, ホリスティック医学・不思議の科学を含むこの分野の世界一の拠点に育てたい. 企画, 構想, 連携や2024年中に100名の人財を公募中で, 良い研究者や多方面の人材の推薦等で皆様のご協力を得たい. このために現本部にスペースを既に借増し, 小型ビルの建築確認済証も発行され, 超大型ビルを含む大型ビル3棟の企画設計もまとまった. ところが綺麗で有能な各種人財の結集を望んでおり, 自薦・他薦を期待している.

ISLISの設立趣意は, 物質中心の科学技術から, ころや精神を含んだ21世紀の科学技術へのパラダイム・シフト(枠組革新)を通じ, 真理の追究と共に, 人間の「潜在能力」の開花により, 健康, 福祉, 教育と社会および個人の幸福や心の豊かさを大きく増進させ, 自然と調和した平和な世界創りに寄与する事である.

ISLISは1995年の創立来28年半, 現在の科学知識の延長で説明が出来そうも無い不思議なころや精神を含んだスピリチュアル・ヒーリング, 気功, 潜在能力, 超心理現象などの存在の科学的実証とその原理の解明を追求して来た. この間に生命情報科学シンポジウムを, 海外での開催や16回の合宿形式を含め58回主催し, 英文と和訳付の国際学会誌 **Journal of International Society of Life Information Science** (J.Intl.Soc.Life Info.Sci. or **Journal of ISLIS**)を年2号刊行し, 総計7,000頁以上の学術論文と発表を掲載してきた.

この間に, 不思議現象の存在の科学的実証には多くの成果を挙げた. しかし, その原理の解明は世界的にもほとんど進んでいない. 今後共, これに大いに挑戦したい.

本学会は現在, 世界の11カ所に情報センターを, 15カ国以上に会員を, 擁している.

キーワード: ホリスティック医学, 国際生命情報科学会, **ISLIS**, イスリス, 生命情報科学, 潜在能力科学, 国際総合研究機構, 愛理 **IRI**, アイリ, 科学平和文化財団, **SPC-F**, 科学, 精神, 脳, 心身, 代替医療, CAM, 統合医療, IM, 予防医学, 未病, 精神神経免疫, スピリチュアル, ヒーリング, 気功, ヨーガ, 瞑想, 潜在能力, 催眠, 心, 不思議, パラダイムシフト, 世界像, 世界観, 超常現象, 超心理, 超能力, 平和, 幸福

<会長講演>

地球の自然治癒力の回復は焦眉の急

帯津 良一

国際生命情報科学会 (ISLIS) 会長
日本ホリスティック医学協会 名誉会長
帯津三敬病院 名誉院長 (埼玉,日本)



要旨: 昨年の猛暑,元旦早々の能登半島の地震および世界各地の巨大地震,2年も続いているロシアのウクライナ侵略,イスラエルの攻撃によるガザ地区の悲惨など地球の自然治癒力の凋落振りには目を覆うものがある.地球の滅亡も絵空事ではなくなって来た.これを救うべきはまずは大ホリスティック医学の出番だ.自然界は大は虚空から小は素粒子まで,場の階層から成るという.そしてこの場の階層には,上の階層は下の階層を超えて含むという原理がはたらいているという.つまり全階層が一丸となって人間まるごとを形成しているのである.だから地球の自然治癒力を回復させるためには,生きとし生けるもの一人ひとりが,自らの内なる自然治癒力を高めながら,自らが身を置く場の自然治癒力を高めていけばよいのである.一人でも多くの人が丹田に力を込めて,このことに腐心していくことによって,地球の自然治癒力が回復し,地球は滅亡から救われるのである.

キーワード: 地球の自然治癒力,場の階層超えて含む,生と死の統合

連絡先: 帯津 良一 医療法人直心会 帯津三敬病院 名誉理事長 〒350-0021 埼玉県川越市大字大中居 545 番 Tel: 049-235-1981

<大会長講演>

第 58 回生命情報科学シンポジウム 2024. 8. 2-5 於 富士山麓(大会長関連施設)

「富士山麓のリトリートで命の循環を体験・体感する」

ーフェーズフリーのホリスティック医学とはー

山本 竜隆

ISLIS 第 58 回生命情報科学シンポジウム 大会長・

国際生命情報科学会 (ISLIS) 理事,

朝霧高原診療所 院長、WELLNESS UNION (日月倶楽部・富士山静養園) 代表 (日本,静岡),

昭和大学医学部 客員教授, 日本ホリスティック医学協会 副会長



要旨: 伝統ある国際生命情報科学会 (ISLIS)主催の第 58 回生命情報科学シンポジウムの大会長を拝命し,2024 年 8 月 2-5 日(金-月)に,主テーマ「富士山麓のリトリートで命の循環を体験・体感する」ーフェーズフリーのホリスティック医学とはーで,私を中心に設立し育てた下記施設にて合宿形式で開催する.

多くの方のご講演,発表,セミナー,実技披露などにご参加を期待している.

私は,富士山麓の朝霧高原において,日月倶楽部・富士山静養園・朝霧高原診療所の 3 施設を柱に活動している.そこで,WELLNESS UNION の設立背景,この施設の沿革,活動内容,施設,今後の展開について,報告する.下医は病気を治し,中医は人を治し,上医は社会を治す」という言葉に感銘を受け,医療からのアプローチで,小さな地域社会の安心安全,自然環境を活かした地域づくりを目指している.

近年では,リトリートという言葉も広く使用されるようになったが,平時の癒しのみならず,有事の避難所としての”場“があってこそ本当のリトリートであり,社会医学や公衆衛生などの観点でも,今後の日本においては重要な視点ではないかと考えている.また,これらの活動自体が,広義の統合医療やホリスティック医学に繋がると考えて,農業などとも連携した取り組みを進めている.私の恩師でもあるアンドルーワイル博士は”実学“を重視しており,現場での体験・体感をご提供できればと考えている.

キーワード: リトリート、広義の統合医療、ホリスティック医学、富士山、朝霧高原

連絡法: Tatsu196691@piano.ocn.ne.jp

<特別講演>

ミツバチが育む生きる力、愛と希望についての考察 ～養蜂福祉の現場からの報告～

高安 和夫

一般社団法人みつばち協会 代表理事
NPO 銀座ミツバチプロジェクト 理事・最高顧問

高安 さやか

一般社団法人みつばち協会 常務理事

要旨：植物や動物,大自然などから得られる癒し効果については,園芸療法,動物介在療法,森林療法などの研究成果や多数の論文等からも公知となっています.ところが蜜蜂の飼育や観察,蜜蜂の為の蜜源植物の手入れなどから得られる効果についての研究事例は少ないのが現状です.海外ではスロベニアの養蜂療法やアメリカ,カナダなどで,退役軍人のケアプログラムとして養蜂が導入されています.当団体では障害者の就労支援として農福連携に養蜂が導入される事での相乗効果について調査してきました.その結果,知的障害者や精神障害を持つ方たちに対して,障害の程度に関わらず「会話が增えた」,「表情が明るくなった」など QOL の向上が確認されました.また,不登校特例校での総合学習として取り組む「みつばちの里」活動においても同様の効果が確認されました. 蜜蜂は蜂蜜を生産するだけではなく受粉が本来の神様から与えられた仕事です.その歴史は人類より遥か昔から地球上の動植物の進化に受粉という生命誕生を助ける仕事で貢献してきました.おそらく健常者以上に,心に障害を抱える仲間たちは蜜蜂に共感し,蜜蜂から「愛と希望」を受け取るのではないかと考えられます.今後,「みつばちの里」活動が全国に広がり,地域包括ケアの核になることに期待が持てます.

キーワード：ミツバチ,農福連携,動物介在療法,養蜂療法

<特別講演>

日本(特に朝霧)のシャーマニズム 欧州のスピリチュアリズム,ヒーリング

鶴見 明世

ドイツ国際ヒーリング協会認定ヒーラー
ドイツ・スイスインターナショナルヒーリングアソシエーション最高顧問
NPO 法人 IAOH JAPAN 理事長,オフィス虹代表



要旨：私は日本ではタロットリーディングを主として活動しています. 2006 年, スイスバーセルで開催されたドイツのヒーリング協会国際コンgresで,ヒーラー及びシャーマンの認定を受けています.海外では,ヒーリング,シャーマニズムが半々の活動内容です.ここ,朝霧では山本竜隆医学博士と協力体制を取らせて頂きまして,何回か浄化シャーマニズムを実践しています. 朝霧という,日本一の霊峰である富士山を仰ぎ,清らかな水に恵まれた地でのシャーマニズムの実践,遠くヨーロッパでのヒーリング,シャーマニズムの必要性和評価,実施を通しての共通性や内容の違い,またその根底に存在するひとの意識,ひとではない存在の意識,スピリチュアリティに関して,お話をしてみたいと思います. また,人々からの相談の中で多い,使命という概念に関しましても,一考をして参ります.

講話内容

①朝霧高原でのシャーマニズム,ヒーリング

②欧州でのシャーマニズム,ヒーリング

③使命,スピリチュアリティに関して

キーワード シャーマニズム,ヒーリング,スピリチュアリズム,使命,日本,ヨーロッパ

<特別講演>

米国の宇宙生命研究の最前線,情報開示が示唆する 人類の起源,生命,意識の再定義

エリコ ロウ

マインドフル・プラネット・コミュニケーションズ・
バイオエネルギー・トレーニングスターシードアカデミー (米国,シアトル)



要旨: 人類が宇宙で唯一の知的生命体ではないことは否めない事実とみられるようになりました。 実際に関与してきた政府や軍の高官,企業幹部などによる内部告発で,人類よりもはるかに進化した異星人が多種類存在し,外交や技術供与も行われてきた証拠が蓄積したからです。 人類は異星人による遺伝子改造の産物だと公言する元 CIA アナリストや有名大学の教授たちも出てきたのです。 こうしたことから米国では議会も動き出し,国内政治をめぐり対立を深めるなかでは奇跡的といわれる超党派のプッシュにより,過去 70 年以上にわたり政府や軍,軍需ハイテク企業が隠蔽し続けてきた異星人との接触や異星人由来の技術開発の情報開示義務も法律として制定されました。 科学の常識,国際政治,法律,科学,文化,宗教はもちろんのこと,人間という存在自体の定義も大きく変わろうとしているなか,米国には宇宙時代の人類を導く人材教育として ET 研究学の修士号,博士号コースを発足させた大学もあります。 その主任教授が,情報開示の法制化に実現に尽力したのがペンタゴンペーパーやイランコントラ事件での情報開示などでも名を馳せた国民の知る権利擁護の旗手で憲法学者ダニエル・シーハン弁護士であることから,地球にコペルニクス的展開以上の転機が来たことがわかります。 その一方では,地球の自然環境が悪化を加速させるなか,宇宙船の目撃,ライトランゲージ,テレパシー,ルーシッド・ドリーム,チャネリングなどを通して異星人や異次元の存在や,その正体は地球の先住民である多次元生命体とみられるサスクワッチ(ビッグフット)からメッセージを受け取れる,とする民間人も急増。 人類の起源や宇宙の歴史,人類への警告,未来予言などの情報も氾濫し,真偽の判断も大きな課題となっています。

本講演では,在米ジャーナリストで,潜在能力開発のインストラクター,世界初の ET 研究学博士号過程を開設したユビキティ大学で単位を修得中のエリコ・ロウが,米国における宇宙生命研究,リバー・エンジニアリングの最新情報 ET とのコンタクトが示唆する意識の科学,人類の進化の可能性と限界について考察します。

キーワード: 地球外知的生命体,未確認航空現象,未確認飛行物体,コンタクト,テレパシー,チャネリング,アストラトトラベル,リモートビューイング,UFO,UAP,EBE

連絡先: メール: eriko@mindfulplanet.com 携帯電話: 米国 1-206-718-8588 日本滞在中 携帯電話 (7月29日~10月1日) 070 1189 2704

<一般発表>

脳の可塑性を促進するニューログラフィカの自己啓発効果

エリコ ロウ

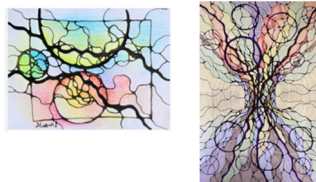
マインドフル・プラネット・コミュニケーションズ・
バイオエネルギー・トレーニングスターシードアカデミー (米国,シアトル)

要旨: ロシアの心理学者で創造心理学研究所所長のパヴェル・ピスカレフ博士が 2014 年に開発したニューログラフィカは脳の可塑性促進に向けてアートセラピー,カラー心理学,マインドフルネス,神経言語プログラミング,対話療法,エネルギー心理学,スピリチュアル・ヒーリング,脳トレ要素を統合したユニークなセルフ・コーチングのメソッドです。

セッション中にファシリテーターのサポートを受けながら行う言語による自己分析,「自分の限界突破」,「生きがい発見」「無力感からの脱皮」といったテーマと独自のステップに基づくアートを作成します。 その過程で全脳が活性化,潜在意識へのアクセスや自己と外界との関係の考察を導き,脳の可塑性を刺激し,新たな脳神経回路の構築が促進される,という効果があります。

事業計画の構想から,自己肯定感向上,対人関係も問題解決,ストレスやトラウマ解消まで様々な目的に応用でき,手法に慣れればファシリテーターなしでもできる優れたメソッドで,完成品はアートとしてもユニークで,展覧会を開いているユーザーもいます。

誰でも簡単に楽しめる自己啓発, 問題解決, 能力開発法としてもつか欧米で注目の, このニューログラフィカの手法と効果を, 実例を交えて紹介します。



キーワード: ニューログラフィカ, 脳神経可塑性, カラー心理学, ストレス解消, エネルギー医学

連絡先: メール: eriko@mindfulplanet.com 携帯電話: 米国 1-206-718-8588 日本滞在中 携帯電話 (7月29日～10月1日) 070 1189 2704

<実演>

イーレン気功による真気の活性化&・スプーン曲げ実験

アラン&エリコ ロウ (潜在能力開発トレーナー)

マインドフル・プラネット・コミュニケーションズ・

バイオエネルギー・トレーニングスターシードアカデミー (米国, シアトル)



要旨: スプーン曲げには, 常識を破る, できないと信じていたことができるようになる, という意味で, 意識改革の効果があります. 米国では, タングステンの板を曲げついに折った人もいます. 数回, 日本でもスプーン曲げパーティは開催しましたが, いずれも3分の1くらいのお客はスプーン曲げに成功しています. 本実演では, まずは細胞遺伝子学者で道家気功のマスターとして超能力を発現していたグアンチェン・ソン博士が経絡理解に関する伝統気功の間違いを正しながら開発したイーレン気功による真気の活性化のエクササイズで体内のエネルギーの流れを活性化し, パワーアップ. さらにハートマス研究所開発のハート・コヒーランス瞑想で全員のお客の波動を上げ波長を同調させた後で, スプーン曲げ実験に挑戦していただきます.

キーワード: サイコキネシス, 超能力, 念力, スプーン曲げ, 意識の科学, イーレン気功, ハートマス

連絡先: メール: eriko@mindfulplanet.com 携帯電話: 米国 1-206-718-8588 日本滞在中 携帯電話 (7月29日～10月1日) 070 1189 2704

<一般発表>

潜在意識の調整 ～誰もが潜在意識を扱える世界に向けて～

仲村 龍一郎

潜在意識の調整コーチ

要旨: 潜在意識とは今までの経験を通して体に染みついた本人が自覚していない意識のことです. この潜在意識は今後の行動や思考に大きく影響します. 私の活動目的はどんな人でもこの潜在意識を扱え, 悩みの少ない世界を造ることです. これまで潜在意識を本人の理想とする内容に調整をすることによって, より良い未来になるようコーチングを行ってきました. お客様の潜在意識を調整していく中で, 潜在意識の調整がうまくいきやすいケース, うまくいきにくいケースを分析してきました. その中で感じた潜在意識の調整に纏わる傾向についてご報告させていただきます.

キーワード: 潜在意識, 思考, ヒーリング

連絡先: ryu335576@gmail.com

地球との関係を活かした簡単健康法 一身の回りの波動にもっと注目して健康を考えるー

佐藤 克己

佐藤整体院長 (松戸, 千葉)

要旨：あらゆる物質は固有周波数を出しているのは周知の事ですが, 当然波動は互いにぶつかり合い影響し合う事になります. 私なりの発見でも, やはり体は波動的に周りの影響を受けるのですが, それを上手く利用することで, 健康にも寄与できるのではないかと考えています.

中国には風水と呼ばれる開運法があります. 陰陽五行論という一種の波動的分類で, 人, 物, 建物の波動を, 配置などから整えていく波動利用法で, これなどはあらゆる物が関係し合っている事を検証しながら続いて来た学問ではないでしょうか.

整体師として波動療法に関わるにあたっては, 潜在意識のコミュニケーションのツールとして, Oリングテスト, キネシオロジーなどに見られる筋力テストを用いますが, この細胞レベルの反応は, 波動との関わりを調べるにも有効です. シンプルに体にとって有意義, プラスなものには筋肉は弛緩し, 不利益, マイナスなものには緊張する性質が身体には確認出来るのです. この性質に注目して体を観察すると, 身の回りの物資との関係が見えてきます.

今回のワークショップでは, この性質を使って, 音叉や物の配置などを使って体と物資との関係を知る実験と地球と体との位置関係からくる体の変化を観察し, それを利用した脳脊髄液健康法を試みたいと思います.

キーワード:物資と体との関係を知る, 地球と体との関係を使った健康法を実践する